

クビアカツヤカミキリ

被害が拡大しています！！

川島町のサクラが被害を受けています

クビアカツヤカミキリとは

ウメやサクラ、モモ、スモモなどのバラ科樹木に寄生し、幼虫が樹の内部を食べて枯らしてしまう外来のカミキリムシです。

サクラ並木などに大きな被害をもたらすことから、平成30年(2018)1月に**特定外来生物**に指定されました。

川島町では令和6年(2024)に侵入が確認されてから、サクラへの被害が広がっています。

駆除した方へ**奨励金**を交付します

クビアカツヤカミキリによる樹木被害の拡大を防ぐため、成虫を駆除した人に、1匹につき**現金100円**を交付します。詳しくは町ホームページをご覧ください。

●交付対象者：埼玉県内在住の方

●申請期間：9月30日(水)まで

※期間内でも、予算の限度額に到達次第、受付を終了します。

●申請方法：役場1階 農政環境課(10番窓口)へ、申請書に、埼玉県内で駆除した成虫を添えてご提出ください。

●注意事項：①クビアカツヤカミキリは「特定外来生物」に指定されているため、生きたまま運ぶことは法律で禁止されています。必ずその場で駆除してから役場へお持ちください。

②胸部(首のように見える部分)が赤いことを確認できるものを1匹として数えます。

③駆除の際は、土地所有者の許可なく私有地などに立ち入らないでください。

④けががないよう、安全を確保してから駆除してください。

見かけたらすぐに駆除しましょう！！

成虫

成虫は、ためらわず、踏み潰すなどしてその場で駆除してください。

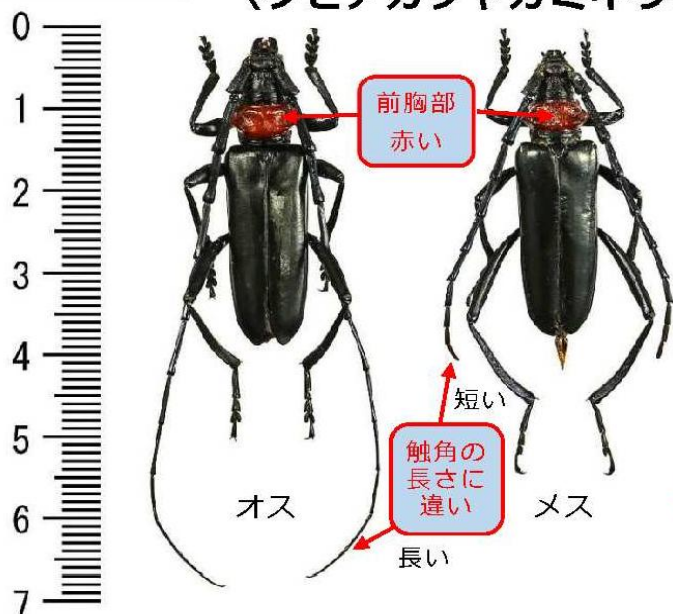
幼虫(奨励金対象外)

幼虫はフラスが付近にある樹木の内部にいます。針金などで刺すか、ノズルで農薬を噴射して駆除してください。

サクラなどへのクビアカツヤカミキリ侵入点検のポイント

サクラやモモ、ウメなどを食害する特定外来生物『クビアカツヤカミキリ』の被害の有無を確認するうえで、ご活用ください。

〈クビアカツヤカミキリ(成虫)の特徴〉



【体 長】25~40mm

【発生期】6月~8月頃

【特 徴】

- ・全体は青みを帯びた黒色
つやつやした光沢がある
- ・前胸部（クビのように見える部分）が赤い
- ・触角はオスの方が長い
- ・つかむと強い匂いを放つ

※成虫はその場で駆除して下さい！

（必ず殺すこと。生きたまま持ち運ぶことは法律で禁止されています）

〈幼虫による樹木被害の点検ポイント〉

孵化した幼虫は、すぐに樹皮に孔を開けて樹木内部に侵入し、およそ2年間、主に樹皮直下の材を食害します。

○対象樹種

サクラ、ウメ、モモ(ハナモモ含む)、スモモ

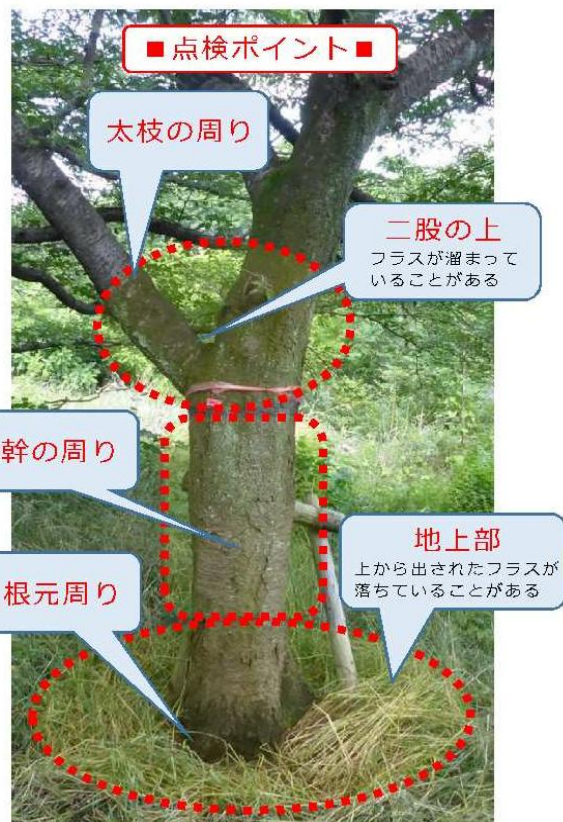
○調査範囲

高さ3m位までの幹や根元、太枝の表面

○調査内容

6月~9月に、下の写真のような『フラス』(幼虫が排出する木屑と糞が混ざったもの)が出ていないかを確認して下さい。

点検するポイントは右の写真を参考にして下さい。



根元で確認されたフラス



幹で確認されたフラス